

2023年9月期 事業報告

自 2022年10月1日 至 2023年9月30日

一般社団法人 日本野球機構

2023年のプロ野球は、シーズン開始後の5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、実施したシーズンとなりました(シーズン中は、感染拡大防止の視点から球団毎に引き続き必要な対応を実施)。23年9月期におきましては、期初の22年10月に行われたSMBC日本シリーズ2022で、オリックスバファローズが対戦成績4勝2敗1分で東京ヤクルトスワローズを破り26年ぶりの日本一に輝きました。また本年3月に開催されたWBCでは、日本が3大会ぶり3回目の優勝を果たし、日本国民に大きな感動をもたらすとともに、野球の魅力を広める大会となりました。

このような環境下、23年9月期を事業計画に基づき、下記を実施しました。

【2023年9月期事業計画(重要課題)】

- プロ野球開催のため、コロナ禍への継続対応を行う
- 野球振興施策を推進する
- 中期経営計画策定(NPBEのあるべき姿(ビジネスプラン策定)の最終化並びに実行着手)とそれに伴うNPBも含めた組織の見直しを行う

実施事業のサマリー

《公益目的事業》

◇ 野球競技者登録システムの運用

日本野球協議会の取り組みとして、学童野球から成人野球に至るまで統一システムに競技者の属性や情報を登録できる装置の開発を行い、その運用を2021年5月から開始しました。2023年9月末現在、日本高等学校野球連盟、全日本大学野球連盟、全日本女子野球連盟、全日本軟式野球連盟、全日本リトルシニア中学硬式野球協会、全日本野球協会の各団体が順次登録を進めています。一方2023年夏の第105回全国高等学校野球選手権大会や実施都道府県大会等で同システムを使用して各団体が出場チーム、選手情報を取得し、大会運営のための具体的なシステム活用を開始しました。引き続き日本野球協議会に参加する各団体のチーム選手登録を推進し、情報の拡充を図りながら、他方で普及振興に資するようデータ活用についても進めて参ります。

◇ NPB12球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2022

第18回大会を2020年から3年連続で明治神宮野球場及び横浜スタジアムで開催しました。新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、有観客で実施。毎年ドラフト会議でジュニアチーム出身選手が指名を受けるケースが増えてきており、2005年の第1回大会からNPB入りを果たした選手の累計は77名に上りました。

◇ NPBちびっ子やきゅう大会ぶんぶんカップ

未就学児向けの野球振興施策として「NPBちびっ子やきゅう大会ぶんぶんカップ」を青森県、鹿児島県など全国各地で6回実施しました。ルールをシンプルにした「BTボール」という野球あそびを考案し、小さな子どもでも気軽に野球に親しむことのできるプログラム作りを行いました。今後、各地の

自治体や野球団体と連携して「BTボール」も活用して地域の子どもたちに野球の楽しさ、体を動かすことの楽しさを伝えて参ります。

◇ 初心者向け審判講習会

審判員としての活動に興味を持つ人、子どもの試合等で審判を行う保護者を対象とした初心者向けの講座を2018年から実施しています。新型コロナウイルス流行前の2020年2月に実施して以来、2年半ぶりに宮崎、東京の2会場で実施しました。

《収益事業等》

◇ 2022年セ・パ連盟選手権試合をそれぞれリーグにて完遂の後、クライマックスシリーズを経て、SMBC日本シリーズ2022を計画通り遂行しました。

◇ 2023年シーズンは、セ・パともに3月31日に開幕し(北海道日本ハムのみ新球場のオープニングのため3月30日に開幕)、新型コロナウイルスの影響による試合中止もなく、日本生命セ・パ交流戦、マイナビオールスターゲームを無事実施し、最終的には1球団当たり公式戦試合数143試合を完遂する予定です。

《その他目的を達成するために必要な業務》

◇ 暴排活動等においては中央協議会(オンライン)の開催、春季キャンプでの講習のほか、反社チェックシステムの活用徹底、日本選手権シリーズおよびオールスターゲームでのチケット転売調査を実施しました。

◇ 新入社員研修、情報セキュリティ研修、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。

実施事業の詳細

《公益目的事業》

【野球振興事業の実施】

◇ NPB12球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2022

(12球団のジュニアチーム(小学生)を編成したトーナメント大会)

・ 2022年12月27日～29日 明治神宮野球場、横浜スタジアム

◇ NPBガールズトーナメント全2023 全日本女子学童軟式野球大会

都道府県代表の小学生女子チームが参加し、トーナメント方式による全国大会を開催

・ 2023年7月26日～7月31日 石川県内8会場、参加46チーム

◇ 教員のための「ベースボール型」授業研究会

小中学校体育での「ベースボール型」授業のサポートを目的として教員向けに開催

総数:全27回 参加教員数1,585名、1,353校(詳細は下記参照)

・ オンライン方式

計8回 参加832名、797校

・ 集合・対面形式

計19回(鹿児島県徳之島町、島根県益田市、宮城県蔵王町、大阪府八尾市、山梨県富士吉田市、愛媛県松山市、京都府京都市、山形県川西町、東京都府中市、福井県福井市、岐阜県関市、香川県高松市、島根県雲南市、東京都文京区、神奈川県横浜市、三重県名張市、三重県多気町、長崎県南島原市、長崎県奈留町)

参加人数753名、556校

◇ 野球指導者講習会(BCC)

(一財)全日本野球協会と共催してアマチュア指導者向けの講習会を開催

- ・ 2023年1月20日～2月28日 オンデマンド配信講座の実施
- ・ 2023年1月21日、22日 ライブ配信講座の実施

◇ 学生野球資格回復制度の運営

プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得失管理と研修会の実施・運営

- ・ NPBプロ研修会
2022年11月19日～25日 eラーニング方式で実施
- ・ 学生野球研修会
2022年12月5日～18日 eラーニング方式で実施

◇ 侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」

日本代表経験のある元プロ野球選手及び監督、コーチらによる小学生指導者向けの講習会を開催

- ・ 集合・対面:宮崎・日向夏ドーム(宮崎県宮崎市)2023年2月18日
- ・ eラーニング:2023年8月9日～8月23日

◇ 未就学児等低年齢児童に対する施策

低年齢児童向けに野球のルールを簡素化した「BTボール」による「NPBちびっこやきゅう大会 ぶんぶんカップ」およびボール遊びを体験する「野球ふれあい体験」を開催

- 1) NPBちびっこやきゅう大会ぶんぶんカップ 開催6回 参加582名
 - ・ 6回(青森県弘前市、鹿児島県徳之島町、山梨県富士吉田市、山口県下関市、高知県高知市、富山県富山市)
- 2) 野球ふれあい体験 開催2回
 - ・ フレッシュオールスター「キッズボールパーク」(富山県富山市) 参加311名
 - ・ JR東海共同イベント「野球ふれあい教室」(静岡県三島市) 参加39名

◇ NPB及び12球団と大学、高校による共同普及振興活動の申請・承認

- 1) 日本野球機構－大学・高校野球連盟 開催8回 参加905名
(熊本県高野連、愛媛県高野連、九州産業大学、秋田県高野連、山梨県高野連、神奈川県高野連、愛知県高野連、奈良県高野連)
- 2) 12球団－大学・高校野球連盟 開催10回
(北海道日本ハム－北海道高野連(5回)、福岡ソフトバンク－鹿屋体育大学、福岡ソフトバンク－福岡大学、千葉ロッテ－千葉県高野連、東北楽天－宮城県高野連、横浜DeNA－神奈川大学野球連盟)

◇ 初心者向け審判講習会

NPB審判員が講師となり、2会場で講習会を開催 参加157名

- ・ 宮崎・木の花ドーム(宮崎県宮崎市)2022年10月29日(土) *フェニックス・リーグ期間中 77名参加
- ・ 東京・東京ガス大森グラウンド室内練習場(東京都大田区)2023年1月14日(土) 80名参加

◇ 野球障害予防健診

肩肘の障害予防を目的とした健診を実施

- ・ ジュニアトーナメント出場選手対象 : 2022年10月～11月
- ・ ガールズトーナメント出場選手対象 : 2023年6月～7月

【研究・調査】

◇ 試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲームオペレーション委員会)

- ・ 試合時間計測・分析
投球数減少などの要因により、平均試合時間が前年比2分減
- ・ ゲームオペレーション「スピードアップ・ポスター」
2023年シーズン版を作成し、12球団へ配布。球場施設内等で掲出。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。
- ・ スピードアップ表彰
スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して「スピードアップ賞」を贈呈
- ・ 審判員技術向上アプリを活用し、審判員個々のストライクゾーンの特徴などを把握した上で判定技術の向上に努めた。全体のストライクゾーン均一化を並びにスムーズな試合進行に寄与している。

◇ 中期経営計画における一つの指針として、野球振興策の方針を補完・検証するためのアンケート調査「野球振興施策の検討に関する調査」を実施。

◇ NPB 新公認バット制度の運用

- ・ 2023シーズンの公認バットメーカーを2月に公示
- ・ 新規登録メーカーに、音によるバット品質の確認機械(E テスター)を提供し、木製バットの品質向上を推進

◇ 基本的運動技能の発達に関する研究

幼少期にどのような運動習慣が必要なのかを調査するため、東京大学との共同研究を継続実施中。

【助成事業】

◇ 日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象に寄付、助成事業を実施。

- ・ 公益財団法人野球殿堂博物館
長年の課題であった収蔵品の再整理を実施。また WBC 優勝トロフィーの展示で入場者が大きく増え、野球界のアピールに繋がった。

- ・ 公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)
- ・ 公益財団法人日本野球連盟(JABA)
- ・ NPO法人アオダモ資源育成の会
- ・ 一般社団法人全日本女子野球連盟
「アジア女子野球サミット」を主宰し、日本女子野球の存在感を諸外国にPR。2026年アジア競技大会競技入りに向けたロビー活動としても効果的の事業となった。

【アマチュア球界との交流】

◇ 日本野球協議会の運営

日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会を開催。各種協議を内容やレベルに応じてそれぞれの担当部会にて対応。

- ・ 幹事会
- ・ 各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
- ・ その他各種部会

◇ プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催

(公財)日本高等学校野球連盟、(一社)日本プロ野球選手会と共同で現役選手による高校球児への野球指導交流事業を開催

- ・ 2022年12月11日 愛媛県・松山市中央公園(坊っちゃんスタジアム・マドンナスタジアム)

◇ 野球競技者登録システム

- ・ 野球界全体の選手登録システム「野球競技者登録システム」の運用ならびに登録者数の増加推進

【国際交流】

◇ WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動

◇ 韓国プロ野球リーグ(KBO)と新型コロナウイルス対策についての情報共有や意見交換を実施

◇ 台湾プロ野球リーグ(CPBL)と新型コロナウイルス対策についての情報共有や意見交換を実施

◇ KBOと2023年シーズンからMLBが導入した新ルールについての意見交換および代表チームビジネスに関する情報交換を実施

◇ CPBLと2023年シーズンからMLBが導入した新ルールについて意見交換を実施

◇ 11月9日、札幌においてオーストラリア野球連盟(BA)、CPBL、KBO各団体関係者が集まり、6年ぶりに東京にてアジアプロ野球チャンピオンシップ(APBC)を開催することを正式に決定

◇ 7月19日、名古屋にてBA、CPBL、KBOの関係者が集まりAPBC2023の開催準備打ち合わせおよび情報交換を実施。会議出席者をNPBオールスターゲームへ招待。

◇ 野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)と連携を図り、海外での野球普及活動を支援

【新人選手・プロ野球選手OBに向けた取り組み】

- ◇ 新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフトの実施
 - ・ 2022年10月20日に球団別の個室形式にて実施
- ◇ 新人選手研修会
 - ・ 2023年1月12日に新型コロナウイルス感染予防対策のためオンライン会議システムにより実施
- ◇ プロ野球合同トライアウト
 - ・ 2022年11月8日に楽天生命パーク宮城にてプロ野球合同トライアウトを開催、49選手が参加。
- ◇ セカンドキャリアサポート業務
 - ・ みやざきフェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施
 - ・ 退団者の動向調査を実施
 - ・ 現役選手意識調査および退団者動向調査結果をとりまとめメディアリリース。機構公式ホームページ上での関連情報の公開。
 - ・ セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL2023」の編集および発行
- ◇ 支配下10年以上養老補助制度事業における現況調査及び支給の実施
- ◇ 退団選手一時金制度における支給の実施
- ◇ 監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動の実施と奨励金支給に関するオールスターゲーム資金の分配と球団請求業務の実施

【プロ野球界内の取り組み】

- ◇ 中期経営計画に基づき、NPB並びに株式会社NPBエンタープライズ(以下「NPBE」)において組織を跨ぐ収益構造の最適化を検討
 - ・ 社員総会(オーナー会議)の指示を受け、NPBグループ全体の収益最適化の検討を中期経営計画内で実施。NPBEにおける詳細な事業計画は継続検討中。
- ◇ ファーム拡大政策に伴う新規球団参加への対応
 - ・ 2024年のファームリーグ戦への新たな参加球団について検討、9月オーナー会議にて2チームの内定を行い、最終決定に向けた調整を継続中。
 - 内定2球団：静岡ハヤテ223、アルビレックス新潟
- ◇ 審判員の育成・研修
 - ・ 第9回NPBアンパイア・スクールの開催
2022年12月10日(土)～12月16日(金)6泊7日 会場:ロッテ浦和球場(さいたま市南区)
 - ・ シーズン反省会の実施
- ◇ NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝
- ◇ 2023年公認野球規則の編集および発行と配布
- ◇ 新型コロナウイルス対策連絡会議の開催(2022年11月まで)
 - ・ 隔週毎にNPBとJリーグが共同で行う「新型コロナウイルス対策連絡会議」を開催

- ・ 新型コロナウイルス対策の専門家チーム(専門医師 9 名)と契約、北海道から九州までの各地域での緊急時の相談対応ができるよう対策を講じた
 - ・ NPB 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを策定
 - ・ NPB 各球団の PCR 検査等によるスクリーニング検査を実施
 - ・ 新型コロナウイルス感染の場合の緊急時対応窓口を NPB 事務局内に設置
 - ・ 新型コロナウイルス対策連絡会議において感染者発生時の調査を継続実施
- ◇ スポーツ庁補助金取り纏め、申請対応

【NPB 医事委員会活動】

- ◇ 脳振とうガイドラインの策定と運用
- ◇ 球団向け講習会の実施
 - ・ オンデマンドによる VTR 映像講習会開催
 - ・ Zoom による各球団トレーナー医科学関係者と NPB 医事委員会の意見交換会開催

《収益事業等(野球奨励促進事業)》

【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

- ◇ 2023 年シーズン試合日程の編成、発表
- ◇ 開幕日程の作成、発表(NPB全体日程の再調整)
- ◇ NPBマザーズ・デー開催
- ◇ セントラル、パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ イースタン、ウエスタン・リーグ年度選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ 選手登録の管理運営
 - ・ 選手登録・異動手続、FA日数管理を実施。
 - ・ 中期経営計画に基づく次年度に向けた NPB ネット改修等への着手。
- ◇ 非公式試合(教育リーグを含む)管理
 - ・ 日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理
- ◇ みやざきフェニックス・リーグ運営管理
 - ・ 試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡
- ◇ NPB AWARDS 2022 の 3 年ぶりの有観客開催 (2022 年 11 月 25 日(金))
- ◇ 記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理
- ◇ 各リーグアグリーメントの発行
- ◇ イースタン・リーグ観戦ガイドの発行
- ◇ グリーンブック 2023(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ ブルーブック 2023(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ 両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務

(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームはNPBの主催試合)

◇ リプレイ検証制度「リクエスト」の運用

◇ 審判員の技術向上

- ・ 審判員技術向上アプリを活用し、ストライクゾーンの精度、技術向上に努めた。試合結果、リプレイ検証を振り返るアプリ(POG)も導入・活用し、審判員・記録員が自身の判定について日々の研鑽を実施。2021年からファーム映像の機能も追加している。

【試合の主催、開催支援、運営】

◇ ファーム日本選手権

- ・ 2022年10月8日(土) 宮崎県・ひなたサンマリンスタージアム宮崎にて開催

◇ 日本選手権シリーズ

- ・ 2022年10月22日(土)から明治神宮野球場、京セラドーム大阪にて開催
- ・ 三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC日本シリーズ2022」として開催

◇ フレッシュオールスターゲーム

- ・ 2023年7月18日(火) 富山市民球場アルペンスタジアムにて開催

◇ オールスターゲーム(12球団共催)の運営

「マイナビオールスターゲーム2023」として開催

- ・ 2023年7月19日(水) 第1戦：バンテリンドームナゴヤ
- ・ 2023年7月20日(木) 第2戦：マツダ Zoom-Zoom スタジアム広島

◇ 二次映像等の使用許諾管理・NPB管理試合における映像二次使用管理業務

◇ グッズの制作、販売管理

- ・ NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
- ・ NPBショップ運営管理

◇ NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売

◇ 12球団プロパティを使用した許諾事業の管理

◇ NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理

- ・ 現時点ではプロ野球10球団がNPB CICを利用
- ・ NPB・博物館保管の過去の日本S、オールスター映像の電子化を実施

【国際大会の運営、参加】

◇ 日本代表チームを編成、派遣

◇ 侍ジャパンシリーズ2022の開催

- ・ 2022年11月9日(水)、10日(木)、札幌ドームにオーストラリア代表チームを招へいし、日本代表チーム強化試合2試合実施

◇ 2023年3月、第5回WBCに出場。3度目の優勝。

【試合以外の収益確保等】

- ◇ 新たな収益源となるビジネスモデル立ち上げの検討
- ◇ 12 球団との各種会議の開催、運営、案件とりまとめ
- ◇ 12 球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行
- ◇ プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP (Baseball Data Innovation Platform) の運用と利用促進
 - ・ NPB BIP バージョン 3.0 をリリースし、配信データ項目 (公示・予告先発情報) を拡張
- ◇ e スポーツ事業「eBASEBALL プロスピ A リーグ 2022 (NPB・コナミ社共催)」の開催と運営
 - ・ 2022 年 11 月 5 日 (土)～2022 年 12 月 4 日 (日)
eBASABALL e ペナントレース開催
 - ・ 2022 年 12 月 10 日 (土)・11 日 (日) e クライマックスシリーズ開催
 - ・ 2022 年 12 月 17 日 (土) e 日本シリーズ開催
- ◇ e スポーツ事業「eBASEBALL プロスピ A リーグ 2023 シーズン (NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営
 - ・ 2023 年 6 月 28 日 (水) 開催概要・継続契約選手の発表
 - ・ 2023 年 8 月 30 日 (水) 12 球団スピリング監督・スペシャルサポーター就任の発表
 - ・ 2023 年 9 月 3 日 (日)～9 月 10 日 (日) 選手選考オンライン予選実施
 - ・ 2023 年 9 月 23 日 (土)～9 月 24 日 (日) 選手選考オンライン面接実施
- ◇ 中期経営計画に伴うゲームおよびeスポーツ事業の委託先変更に伴う対応業務 (委託先を NPBE に変更)
 - ・ NPBE、共催者、12 球団およびゲームメーカーとの変更に伴う交渉業務
 - ・ NPB と 12 球団との契約解除および NPB エンタープライズとの新規契約実施
- ◇ 中期経営計画に応じた NPB・NPBE 間の収益適正化を視野に入れた事業再編の実施
 - ・ NPBE へのゲーム管理事業の再編を実施。他方再編に伴うゲーム化権等のロイヤリティを NPB が得られるよう仕組み化
 - ・ また主にホークアイを利用したデジタル事業を NPBE にて推進し、24 年 9 月期の事業計画化を目指す (新たな収益源の創造)

【記録データの管理】

- ◇ 公式記録の作成、管理、運用
 - ・ 非公式戦、公式戦への記録員の派遣
 - ・ 公式記録のコンピューター管理システムBIS (ベースボール・インフォメーション・システム) の管理運用
 - ・ 12 球団、会員社への検索サービスの提供
 - ・ 速報記録等のメディア配信
 - ・ 12 球団への各種データ提供、球場ビジョン表示用速報データの配信
 - ・ NPB サイトへのデータ提供、コンテンツ作成

- ・ 選手名鑑、メディアガイド、野球カード用データの提供
- ・ 未データ化の1リーグ(1936年～1949年)の公式記録入力
- ・ オフィシャルベースボールガイド2023、グリーンブック(セントラル野球連盟ガイドブック)、ブルーブック(パシフィック野球連盟ガイドブック)等各種出版物の作成
- ・ BIS利用に関する契約管理、説明会開催
- ・ NPBネットとのシステム連携、オプションサービスの検討
- ・ 地方開催球場のネットワーク構築
- ・ DX推進としてDropboxアプリを導入し、記録情報発信と一部球場からのスコア送信を開始

《その他目的を達成するために必要な業務》

【広報・PR活動】

- ◇ NPB主催イベントにおける広報対応
 - ・ 日本シリーズ、オールスターゲーム、ドラフト会議、NPB AWARDSなどの広報対応 実施
- ◇ 取材・会見対応、プレスリリース配信
 - ・ 各種会見対応、取材・問い合わせ対応、各種プレスリリースの作成・配信を実施
- ◇ プロ野球取材ID発行・管理
 - ・ 前年12月から年初まで初回申請受付、2月のキャンプイン前に配布。オールスターの時期まで計4回の申請受付・配布
- ◇ オフィシャルベースボールガイド2023の発行
 - ・ 2022年シーズンオフに編集作業。2023年2月23日発行
- ◇ 公式ホームページ、SNS等での情報発信
 - ・ 公式HP(<https://npb.jp>)、X(旧Twitter)公式アカウント、facebook公式アカウントの運用
- ◇ 公式YouTubeチャンネルの運営
 - ・ 日本シリーズ、オールスターゲーム等のNPB主催試合コンテンツ、企画コンテンツ、NPB AWARDS、会見等のライブ配信、ジュニアトーナメント、ガールズトーナメント試合中継の実施等
- ◇ 公式フォトの管理
 - ・ NPB主催試合・イベントでのオフィシャルフォト撮影、写真管理
- ◇ 公式プログラムの監修(オールスターゲーム、日本シリーズ)
 - ・ 2022日本シリーズ公式プログラム(2022年10月22日発売)、2023オールスターゲーム公式プログラム(2023年7月18日発売)
- ◇ NPBプロモーション映像制作(球場ビジョン用)
 - ・ 公式戦開幕前に「野球場へゆこう」「ドンマイMYフレンド」の映像制作。12球団本拠地球場で放映
- ◇ NPBスローガン(映像、ポスター制作)
 - ・ 公式戦開幕前に映像、ポスター制作。12球団本拠地球場、地方球場、メディア等で放映・掲出
- ◇ NPB手帳製作

- ・ 2023年試合日程が掲載されたNPB手帳を製作。NPB関係者、12球団、パートナー社、メディア等に配布

【検査および調査】

- ◇ 公式戦使用球(統一試合球)の検査
- ◇ バット強度の調査・研究

【暴排活動等】

- ◇ プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会はオンライン会議にて開催
- ◇ 春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習は中止
- ◇ みやざきフェニックス・リーグでの暴排講習を実施(DVD配布により各球団対応)
- ◇ 反社チェックシステム活用徹底
- ◇ 日本選手権シリーズおよびオールスターゲームにおけるチケット転売調査実施

【会員間の連絡、親善】

- ◇ 12球団役職員名簿の制作、配布

【NPB組織強化】

- ◇ 適正な労務管理、業務環境・体制整備の継続
- ◇ 職員向け各種研修(新入社員研修、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修等)
- ◇ 商標権、その他知的財産権等の登録・管理
- ◇ 内部監査の徹底
- ◇ 危機管理の体制改善・機能強化

【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇ 公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇ グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

【アンチ・ドーピング活動】

- ◇ アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ ドーピング検査の実施
- ◇ サプリメント等問い合わせ対応
- ◇ TUE申請対応

以上